

# Newsletter

ニュースレター 第1号

一般社団法人 貝合貝覆文化協会 2024年7月1日 設立



日本文化と王朝遊戯を発信する

蛤貝を通して

一般社団法人貝合貝覆文化協会 設立のご挨拶  
この度、かねてより設立準備を進めてまいりました新法人が本年7月1日より発足の運びとなりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深謝申し上げます。私はこれまでの6年間、貝合わせ貝覆いとも藤として貝合わせ用の蛤貝殻の販売をしてまいりました。おかげさまで年間500個6年間で3千個の蛤貝殻を販売し、多くの皆さまに貝合わせ制作をお楽しみいただいております。新しく設立した貝合貝覆文化協会では、貝合わせ作品の制作をされているアーティストの皆さまの交流、貝合わせ作品の発信をまずは行なってまいります。

また、11月には協会が認定する講師講座を開講します。協会では貝合わせを作る人、普及する人を支援。講師を育成していくことで、貝合わせと貝覆の歴史文化が後世に長く残り続けてゆくよう活動してまいります。  
協会設立を機に、今後はより一層、王朝遊戯「貝合わせ」「貝覆い」の世界を広め、多くの皆さまに蛤貝の魅力を発信してゆきたいと思っております。何卒、今後ともよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 貝合貝覆文化協会  
代表理事 佐藤朋子

一般社団法人 貝合貝覆文化協会

# interview

奈良県御所市、駒形大重神社に  
新たに就任した女性宮司が語る、  
これからの日本に必要な和の心とは



駒形大重神社 奈良県御所市  
宮司 村山陽子

インタビューの第一回は、協会の特別会員であり、多彩な経歴をお持ちの村山陽子宮司にご登場いただきます。

宮司様が感じておられる、  
守りたい日本の和の心とは。

私は、日本人の文化、伝統、和の心のキーワードは、「四季」であると考えております。春夏秋冬、日本には四季があり、四季を感じ、香り、食し、触れ、五感で楽しむ事が出来る。今の季節を楽しむだけでなく、例えば、着物は季節より少し早めの柄を着ます、それは次に来る季節を楽しむためです。夏の暑い日には、ススキや稲穂の柄を着て、次に来る秋を感じ、涼しさを感じる。冬には次に来る春の訪れを楽しむ。和菓子でもそうですし、多くの文化に四季を取り入れて在り、日本人はその四季を楽しむ心を持っている。

私が所有している貝合わせには一年十二月、其々の季節の絵が描かれています。

八月には大文字焼き、九月には重陽の節句、十月はお月見、十一月は紅葉狩り、見ているだけで、季節を感じ、日本人が大切にしてきた豊かな伝統と文化、その心が描かれています。

先日、友人が夏祭りの際に、「子ども達が境内で虫取りをしています。その風景が懐かしく、とても心に残りました」と、この風景も残し、守りたい日本の和の心の一つであると思えました。

守りたい和の心とは、豊かな、自然春夏秋冬四季であり、四季を楽しむ風景であり、そこから生まれてきた伝統文化、そしてその文化に触れた時の心の感動、更に、日本人は枯れていく花、おちてゆく落ち葉にさえも儂さ、美を感じる事ができる日本人独特の美意識、守っていききたいと思っております。

和の心を育て守っていくために  
にされてゆきたいこと。

今回、駒形大重神社の宮司になることにより、私には「お宮」という場所が出来ました。此処から、守りたい日本の和の心を発信していけるのではないかと考えております。また、この場所で和の心を育てて行く事も出来るのではないのでしょうか。神社には、季節の花が咲いております。季節ごとに違う風景があり、また、高台にある境内からは大和三山飛鳥が一望でき後ろには葛城の山々が連なり、自然豊かな風景に囲まれています。より季節を感じてもらう為に、自然を活かし工夫をしていますと考えております。

また、日本の和の心を、氏子崇敬者の方、地域の方に発信していく一つとしてお宮での講演会、勉強会、大祓の写詞を考えております。そして神社といえば、お祭りがございます。年間七回のお祭りを通して日本の和の心を「守り、育て、伝えて」参ります。

## 駒形大重神社 こまがたおおしげじんじゃ

駒形神社と葛木大重神社が明治に合祀した。葛木大重神社は、10世紀初頭に醍醐天皇の勅命により、藤原時平が編纂した『延喜式』神名帳に記載された由緒ある神社。平安時代の公卿 滋野貞主、本殿後ろの駒形山が御祭神。



## 貝覆い遊びの体験会

2017年より、貝合わせ貝覆いとも藤として、貝覆い遊びの普及のため、東京、大阪、京都、広島で貝覆い遊びの体験会を多数開催してまいりました。王朝文化の世界により親しみを持っていただくために貝桶や平安装束、源氏物語絵の貝覆いなどもご紹介してまいりました。



渉成園にて開催された和の  
日文化祭にて  
渉成園は東本願寺の庭園

## 子供達と貝合わせ作り、親子ワークショップ



自然のものを使って物づくりをすることは感受性を育むために必要なことです。私どもではポストカやシールで作る貝合わせ作り体験を開催してまいりました。蛤の貝殻という自然の素材に触れることで海の生き物が作り出す造形美を感じ、表現していただきました。

## 公共施設でのイベントへの貝殻販売

宮崎県日向市のはまぐり料理店より、蛤貝殻を購入し、貝合わせ用に洗浄加工したのち、1ミリ単位で採寸、整理し、貝合わせイベントを開催される皆様に販売してまいりました。今後は協会の会員様のみが購入可能となります。

貝合わせ貝覆いとも藤の

# これまで

貝合貝覆文化協会の

# これから



## テレビや映画での蛤、貝合わせ登場シーン

映画「みをつくし料理帖」（監督 角川春樹 原作 高田郁）にてとも藤の蛤貝殻をお使いいただきました。その他、テレビ番組にてご紹介いただきました。テレビ朝日系『ナスDの大冒険TV』テレビ朝日『サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん』フジテレビ『今夜はナゾトレ』NHK総合「京コトはじめ」NHK BS1「コアキョウト 京玩具」NHKワールド「core kyoto」NHK ラーニング『学ぶ君へ平安プレイリスト#2』NHK「あさイチ愛でたいnippon 京都 平安時代にタイムスリップ旅！」



## 貝合わせ制作されているアーティストを発信

貝合わせ用蛤貝殻を会員価格にて販売してまいります。また、貝合わせを製作されている方を協会が運営するSNSで発信してまいります。

## 協会認定講師講座開講

日本の王朝文化である貝合わせ、貝覆いについて学び、講座終了後には認定講師として貝合わせ遊び体験会を開催、講師として貝合わせ、貝覆いの普及を行える講座を開設します。全8回のオンラインレッスンです。日本の婚礼文化、着物文化、歳時記や縁起物などの和文化は通常学ぶのにとっても時間がかかります。この講座では貝合わせを通して学ぶことで簡明に知り、伝えられるようになります。



## 【入会方法】一般社団法人 貝合貝覆文化協会

ご入会ご希望の方は、QRコードより、サイトへ。  
お問い合わせからご連絡ください。  
サイト：<https://tomofujikaiawase.com>





NHKの番組取材にて

## 蛤貝殻を使った作品への思い、心がけていること

私はこれまで、300点以上の貝合わせ作品を作ってきました。画家として何メートルにも及ぶ絵画や屏風、竹の手漉き和紙など様々な素材に絵画を描いていますが、蛤の貝殻に絵を描く「貝合わせ」には他の素材にはない特別な思いがあります。素材としての蛤の貝殻は海の生き物として美しい浜辺や海で成長し、豊かな海の幸として採られたりしたものが人から人へと繋がり、貝殻となったものが貝合わせ制作用として洗浄加工されます。生きていたものがその使命を終え、また再び、美術品の素材となるわけです。私のアトリエの机に置かれた一対の蛤貝を眺めていると唯一無二の出会いのような気がします。

蛤貝殻の色や形、表面の凹みなどのすべてを活かした作品になるようにいつも心がけています。美術館などで古い骨董の貝合わせを見ると、貝に作られたものが長い年月を経ても残っていることに驚きます。丁寧なものづくりをこれからもしてゆきたいです。

鳥獣画家

貝合貝覆文化協会 理事

佐藤 潤

1992年 京都精華大学美術学部卒業。全国の百貨店の美術画廊、アートギャラリーにて個展を多数開催。

梅林山菩提寺安穩堂壁画「二河白道」「涅槃図」制作。

浄土宗円相寺「鷹図屏風」制作。少彦名神社正月絵馬原画、

石上神宮正月絵馬原画制作。祇園祭綾傘鉾扇子原画制作。

海洋堂カプセルフィギュア「佐藤潤の神獣」発売。

フランス、韓国で個展開催。

アメリカ、スイス、デンマークで作品が商品化されている。

一般社団法人

貝合貝覆文化協会

Office address

18-1 Koyama Nishigeni-cho Kita-ku ,Kyoto-shi,Kyoto-hu,603-8105 Japan

Telephone Number +81 75-201-8780

rm\_muse@yahoo.co.jp

